

福井県小浜市×エコスタイル 市内一般廃棄物最終処分場跡地を活用した太陽光発電事業開始 10月13日(金)より

再生可能エネルギーの普及を行うエコスタイル(本社:東京都千代田区、代表取締役:木下 公貴)は、10月13日(金)より福井県小浜市仏谷にある市有地、小浜市一般廃棄物最終処分場跡地において太陽光発電事業を開始いたします。

事業背景

■協定締結の背景と目的

1986年から2009年までの約23年間稼働していた小浜市一般廃棄物最終処分場の跡地は、廃棄物が埋め立てられている特性上その活用法が限定的であり、小浜市は跡地の活用法に悩まされていました。また、この処分場跡地のある小浜市仏谷は、過去の災害において道路が分断され孤立した経験があり、災害等の非常時対策が求められていました。

そこでこの度、エコスタイルが市有地である処分場跡地を賃借し、太陽光発電事業の実施とともに跡地のある仏谷において小浜市と協働で発電所を活用した減災・環境教育に取り組んで参ります。

■太陽光発電所の活用

エコスタイル仏谷太陽光発電所では廃棄物最終処分場の名残でもある管理棟を改修し、発電システムと接続させ、管理棟を給電ステーションとして停電時に電力を直接供給できるようにしました。また、管理棟内にポータブル蓄電池を常設することで、日中は管理棟での給電、夜間はポータブル蓄電池による給電を可能とし、停電時における必要最低限の電力を確保します。また、在宅医療機器を使用されているご家庭があれば、在宅医療機器への給電も可能で、ポータブル蓄電池の福祉の活用も期待できます。

加えて市内外の小中学生を対象に環境授業を行うことを目的として管理棟内に環境教育パネルを設置し、環境教育拠点として活用いたします。

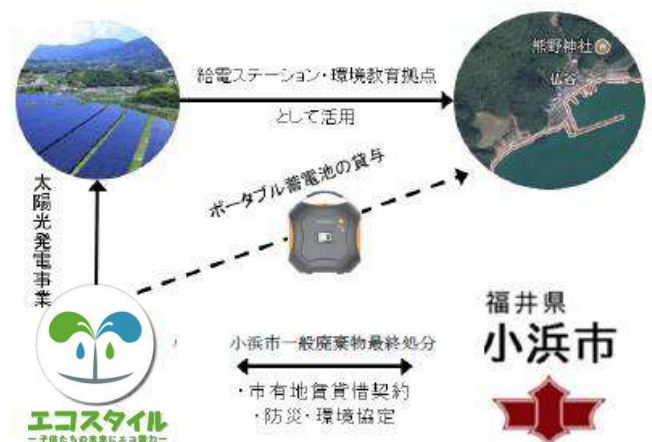
■仏谷地区概要

仏谷地区では1986年から2008年3月まで運営されていた廃棄物処分場のイメージが強く、地域住民には「『廃棄物処理の町』としてのイメージを子供たちへ引き継ぎたくない」という想いがありました。

この想いと共に当社は、福井県小浜市と連携して太陽光発電事業を展開することで仏谷地区のイメージ刷新を図り、雇用の創出や減災にも貢献いたします。また、子供たちへ向けた環境教育活動も予定する等、地域の活性化や発展に資する太陽光発電事業を展開して参ります。

事業概要

- 小浜市一般廃棄物最終処分場跡地を賃借し太陽光発電事業を実施
- 減災への取組みとして停電時は発電所内の管理棟を給電ステーションとして活用
- ポータブル蓄電池を貸与し停電時、夜間でも生活インフラ確保に最低限必要な電力を確保
- 管理棟に環境教育パネルを設置し、環境教育の拠点として活用



地域への影響

■減災

- ・停電時の非常用電源としての活用
→非常時には太陽光発電所を独立電源として開放し、電力の供給地点としての役割を担います。
- ・ポータブル蓄電池の貸与
→ポータブル蓄電池を貸与し仏谷地区へ常設します。停電時における在宅介護用の医療機器等への電力確保を可能とし、発電所の福祉的な活用が期待できます。

■環境教育活動の実施

- ・再生可能エネルギーによる地球温暖化対策等の環境教育を、子どもたちに広める活動を実施します。

■地域経済への貢献、雇用創出

- ・福井県小浜市への固定資産税 800 万円納税(20 年間、見込)
- ・発電所の草刈等維持管理を地元シルバー人材へ委託し雇用創出(予定)

オープニングセレモニー

■調印式・オープンセレモニーの実施

2017 年 7 月 29 日に小浜市役所で調印式を行い、福井県小浜市仏谷でオープニングセレモニーも開催いたしました。オープニングセレモニーにはエコスタイル代表取締役社長木下公貴や小浜市長松崎晃治、小浜市議会議長下中雅之が登壇いたしました。

松崎市長からは「子供たちの未来のために小浜市の明るい未来の礎(いしずえ)を築いていきたい」とコメントをいただきました。



<会社概要>

■株式会社エコスタイル

所在地	東京本社:東京都千代田区丸の内1丁目4番1号丸の内永楽ビルディング20階 大阪本社:大阪府大阪市中央区道修町1丁目4番6号ミフネ道修町ビル3階
設立	2004年10月5日
資本金	505百万円
代表者	代表取締役社長 木下 公貴
事業内容	産業用太陽光発電システム販売・施工・メンテナンス 家庭用太陽光発電システム販売・施工・メンテナンス 電力小売事業、再生可能エネルギー発電事業 再生可能エネルギーファンド組成募集事業、損害保険代理業務
実績	6,918件(2017年8月31日現在、太陽光発電施工実績)
URL	http://www.eco-st.co.jp/